

本学では新型コロナウイルス感染症について、5月8日から法令上の位置づけが変更されるに伴い、今後はできるだけ皆さんが制約なく学業や課外活動等に取り組んでいただけるよう、「新型コロナウイルスへの対応方針」を廃止することに致しました。

新型コロナウイルス感染症のまん延が始まった2020年の初め以来、この対応方針に基づいて授業方法の変更や学内への入構、イベントの制限等、感染拡大を防止するために様々な対策を行ってきましたが、これまでの皆さんのご協力に対し深く感謝申し上げます。

一方、今回の出来事から多くの有用な知見も得られました。特に授業では、一つの授業を対面とオンラインで同時に行う「ハイフレックス」方式をはじめ、新しい方法を導入して多様な条件での学修ができるようになりました。今後も対面を基本としつつ、状況に応じてオンラインも活用しながら効果的・効率的な方法で授業を実施していきますので、学びの幅を広げていただきたいと思います。

なお、この感染症は未だ収束したわけではありませんので、基本的な感染予防策を徹底していただくとともに、自らの感染が疑われる場合には速やかに医師の診断を仰ぎ、治療を受けていただきますようお願いいたします。また、感染した人への差別や偏見が生じることのないよう、周りの人への心づかいも忘れないでください。

言うまでもなく大学は、様々な人々と交流し、知的生産に必要な能力、社会の中での的確な判断を行う能力を身に着ける場です。これからも本学は、皆さんがそれらの能力を獲得するための様々な場を提供し、皆さんを応援していきます。

皆さんのこれからの活躍を大いに期待しています。

2023年4月

東京理科大学

学長 石川正俊